

令和2年度 第1回 岐阜県地方独立行政法人評価委員会（看護大学関係）

—— 議 事 要 旨 ——

- 1 日 時 令和2年7月10日（金） 13:00 ～ 14:35
- 2 場 所 OKBふれあい会館 第1棟3階 301中会議室
- 3 出席者
[委 員] 中島委員長、地守委員、富田委員、渡部委員
[専門委員] 青木専門委員、山岡専門委員
[法 人]（公立大学法人岐阜県立看護大学）黒江理事長、土井事務局長
[設立団体]（岐阜県）兼山健康福祉部部長、堀健康福祉部次長
森医療福祉連携推進課長、若原看護対策監、竹内看護係長 ほか
- 4 議 事 等
[議 題 1] 令和元年度業務実績に関する評価について
[議 題 2] 第2期中期目標期間（見込）業務実績に関する評価について
[報 告] 令和2年度年度計画について
- 5 配布資料 次第、名簿、配席図、資料1-1～1-3、2-1～2-3、報告、説明
- 6 議事要旨

議事概要 看護大学関係

〔審議事項：議題1〕

令和元年度業務実績に関する評価について

第1ブロック 法人から実績を説明

※教育に関する目標を達成するための措置について、資料1-1をもとに説明

第1ブロック 質疑応答

【富田委員】

専門看護師は毎年何名ほど輩出しているのか。また、県内医療機関における専門看護師は増えていきそうか。

【看護大学 黒江理事長】

専門看護師教育課程は3コースあるが、それぞれ1～2名を輩出するよう取り組んでいる。本学大学院生は全て県内看護職が職場在籍型で修学しており、専門看護師教育課程については実施施設に戻ることを条件に修学するため、年次的に増えていく。

【中島委員長】

大学院において、退学者を減らす取組みはされているか。また、長期在学コースを採用されているか。

【看護大学 黒江理事長】

博士前期課程は職場在籍のまま修学ができる長期在学コースを採用し、全員が在籍している。また、大学院の学生が学業、仕事、家庭の両立を図れるように研究指導を行う教員が支援を行い、大学院全体での支援が必要な場合には、研究科長を中心として支援を検討している。

【中島委員長】

コロナ禍で遠隔授業が必須になりつつあるが、遠隔授業を推進することで大学院における退学者を減らすことができるのではないかと。

【看護大学 黒江理事長】

遠隔授業の推進により退学者を減らす可能性はあると考える。遠隔授業は、大学院において平成30年に試行、令和元年度から実施しており、遠方から通学する学生等の負担軽減につながっている。

【中島委員長】

令和元年度の看護師国家試験の合格率が全国平均を下回ったことの原因は何か。また、

改善策は検討されているか。

【看護大学 黒江理事長】

このことについては、大学としても重大に受け止めており、卒業研究担当教員が個別に面談することで原因及び今後の対応を検討している状況である。今年度は、卒業研究担当教員による国家試験に向けたサポートの強化や、模擬試験の有効活用等による指導の強化を検討している。

第2ブロック 法人から実績を説明

※研究に関する目標を達成するための措置等について、資料1-1をもとに説明

第2ブロック 質疑応答

【富田委員】

共同研究は増えてきているか。

【看護大学 黒江理事長】

共同研究は15課題ほどで推移している。

【富田委員】

共同研究の報告・発表はどのようにされるのか。

【看護大学 黒江理事長】

毎年2月に開催される、「共同研究報告と討論の会」において発表することとなっている。その他に、共同研究事業報告書、学術集会での発表、学会誌・本学紀要への掲載により発表している。

【中島委員長】

科学研究費補助金は全教員が申請するのか。

【看護大学 黒江理事長】

教員の研究状況により新規又は継続の申請をすることとなる。若手の教員に積極的に新規申請をするよう支援しているところであるが、数が少ない状況である。

【中島委員長】

教員の数に限りがあるため大変だとは思いますが、若手教員の採択率上昇に向け努力されたい。

【中島委員長】

研究倫理に関する研修について、倫理・コンプライアンスは重要な事項であるため、受講人数より、対象者の何割が受講したかを重視すべきであり、その数値を示されたほうが良いのではないかと思う。

【看護大学 黒江理事長】

研究倫理について、APRIN e-ラーニングプログラムは必ず全教員が受講することとしており、重要視している。表示方法については検討する。

【中島委員長】

県内就職を支援する取組みについて、県外出身者に対してはどのような取組みを行っているのか。

【看護大学 黒江理事長】

岐阜県の全体的な魅力及び岐阜県の医療の魅力を伝えるために1年次から特別講義を行っている。2年次からは県内医療機関と協働し見学学習を行っている。また、学外演習・実習については全て県内の医療施設等で行っている。

第3ブロック 法人から実績を説明

※業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置について、資料1-1をもとに説明

第3ブロック 質疑応答

【渡部委員】

特別監査として、備品の管理状況を対象としたのはなぜか。

【看護大学 土井事務局長】

科研費で購入した物品に関して、会計処理については通常の監査で行っているが、それらの管理状況について調査するため特別監査として行うこととした。

【富田委員】

企画室長はプロパー職員か。

【看護大学 土井事務局長】

プロパー職員である。

【中島委員長】

外部理事の複数化にはどのような効果が期待されるのか。

【看護大学 土井事務局長】

教育関係の企業経営の代表者を外部理事として任命した。学校教育について民間の視点を交えることで経営部門の強化を図ることができると思う。

【中島委員長】

事務職員のプロパー化計画の進捗状況はどうか。

【看護大学 土井事務局長】

年次ごとに事務職員の県派遣職員を減らす一方で、4年間で5名のプロパー職員を採用している。令和2年度にプロパー職員を1名採用すれば、計画はほぼ達成となる。

第4ブロック 法人から実績を説明

※財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置等について、資料1-1をもとに説明

第4ブロック 質疑応答

【富田委員】

新型コロナウイルス感染症に対して、学生への指導等はどのようにされているか。

【看護大学 黒江理事長】

ガイダンスにおいて、学生に対して情報を周知するほか、1年次生に対しては衛生的な手洗い指導等のガイダンスから始めた。また、ソーシャルディスタンスを確保するために1年次生の講義は講堂で行い、2年次生は教室を2つに分けるなどの対応をしている。これらの対策を通じて、学生に対して手洗い・マスク着用・ソーシャルディスタンスの確保等の重要性を指導している。

【山岡専門委員】

新型コロナウイルス感染症の状況において、病院での実習の際にはどのようなことに配慮しているか。

【看護大学 黒江理事長】

3年次において領域実習が多いが、令和2年4・5月は現地へは行かず、遠隔での実習指導としていた。6月以降は実習施設から許可があれば、行うこととなったが、マスク着用・フェイスシールド着用・手指消毒等の準備など、実習施設において求められる対策を採用しながら実習を行った。

【地守委員】

ハラスメントに対する教育について、特に重視して取り組まれていることはあるか。

【看護大学 黒江理事長】

学生の倫理観を高めるために、実習前後に看護の現場における倫理的な課題について演習を行っている。演習・実習を通じて、学生が倫理的課題に対応するための力を養っている。

〔審議事項：議題2〕

第2期中期目標期間（見込）業務実績に関する評価について

第1ブロック 法人から実績を説明

※教育に関する目標を達成するための措置について、資料2-1をもとに説明

第1ブロック 質疑応答

【富田委員】

遠隔授業は双方向か。

【看護大学 黒江理事長】

双方向である。

【中島委員長】

コロナ禍において、データ通信量が不足するなどの問題は生じていないか。

【看護大学 黒江理事長】

学内におけるデータ通信量不足などの問題は生じていないが、遠隔授業にあたって学生が十分な機器を所有しているかが問題となっている。スマートフォンを活用した遠隔授業を行っているが、学生自身の契約の関係などでうまくいかないことがあるため、PCの貸与など対応をしている。機器の整備を進める必要があると考えている。

【中島委員長】

学生に対して、機器の拡充のみならず十分な通信量の確保についてもフォローされたい。

【中島委員長】

推薦入試Bについて、他の入試と比較してどう評価しているか。

【看護大学 黒江理事長】

推薦入試Bは、センター試験及び面接試験を課しており、倍率は5倍程度を推移している。教員によると、当該入試で入学した学生は優秀であると評価されているが、今年度に導入初年度の学生が卒業するため、詳しく分析し評価する予定である。

第2ブロック 法人から実績を説明

※研究に関する目標を達成するための措置等について、資料2-1をもとに説明

第2ブロック 質疑応答

【富田委員】

看護部長等の管理職に対する研修は、参加率は高いか。

【看護大学 黒江理事長】

本学の看護実践研究指導事業において、管理職を対象にマネジメントの研修を行っているが、参加率はとても高いわけではないが一定の参加率である。

【山岡専門委員】

他県の公立大学との学术交流のみならず、県内私立大学等との交流・協働行うなど、県内における看護系大学の交流を充実してもらえないか。

【看護大学 黒江理事長】

今後、検討する。

これまでは、本学と似た看護系の公立大学における取組みを情報収集するために、他県の公立大学と学术交流していた次第である。

【中島委員長】

卒業者の県内就職率60%を目標としているところ50%台を推移しているが、これに対して改善策や取組みを検討されているのか。

【看護大学 黒江理事長】

60%は評価指標というものではなく、目指すべきものと理解している。多くの取り組みをしているが、継続的に実施している県内医療施設から職員が派遣され施設の特徴を説明してもらおうプロジェクトにおいて、2・3年前から本学卒業生が各施設の説明者として派遣されている。これにより、本学卒業生が学生を県内医療機関に招き入れるような流れが生まれつつある。学生は主体的に進路決定をするので、県内医療機関を目指すような積極的な働きかけを行っている。

【中島委員長】

評価を行うにあたって、第1期と第2期を比較できるように表などを作成していただきたい。

【看護大学 黒江理事長】

検討する。

第3ブロック 法人から実績を説明

※業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置について、資料2-1をもとに説明

第3ブロック 質疑応答

【山岡専門委員】

図書について、洋雑誌が値上がりしているようだが、購入に際しては冊数で購入するのか、予算・金額で購入するのか。

【看護大学 黒江理事長】

購入は予算による。また、洋雑誌の購入にあたっては、どの雑誌が必要なのか教員間で吟味しており、重要度の低いものについては雑誌数を減らすなどの整理をしている。

【渡部委員】

授業料減免について、減免はどのような基準で判断しているのか。

【看護大学 土井事務局長】

住民税非課税世帯であるか否かで全額免除か半額免除かを判断している。

【渡部委員】

授業料減免は平成28年度から平成30年度までは半額免除の人数より全額免除の人数が多かったところ、令和元年度になり全額が減り半額が増えている。また、奨学金は年を追うごとに貸与者数の総計が減少しているが、このことについて何か要因があるのか。

【看護大学 土井事務局長】

年度により学生の経済状況が異なるが、詳細な要因は不明である。

【渡部委員】

学業成績が要因となっていることはないか。

【看護大学 黒江理事長】

授業料減免及び奨学金には、学業成績の基準を設けているが、このことが要因とはなっていないかと思われる。

【中島委員長】

事務職員の自己点検・評価を平成30年度から試行的に実施されているが、本格運用されるのか。

【看護大学 土井事務局長】

試行期間を3年間としており、3年目となる今年度までの検証結果を踏まえて、来年度本格的に運用するかを検討する。

【中島委員長】

設立から20年を経過し、施設・設備は適切に維持管理されているか。

【看護大学 土井事務局長】

令和元年度に事務職員として建築職の職員を採用し、施設の整備・修繕等の担当をしている。修繕計画についても当該職員が中心となり改正し、適切に維持管理を行っている。

[報告事項]

令和2年度年度計画について

質疑応答

なし

以上（終了時刻 14：35）